

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	タクシー（経営者）	販売量の動き	・12月に向けて、人流が多くなっている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・依頼が多い。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・店舗改装効果で来客数が増加しており、店全体の売上増加にもつながっている。
	○	スーパー（副店長）	お客様の様子	・いまだに米価は高いものの、安定供給されている。何よりガソリン暫定税率の廃止が決定し、今までより低価格になり、生活に係る負担が軽減されたことから、客も今までなかった購買意欲が出てきている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ボーナス支給後、クリスマスや年末年始需要に関連した商材の販売は増加している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・年末に向けて売上は増えてきているが、クリスマスの予約商材等は落ち込んでいる。ただし、日々の売上は上がっているため、良くなってきている。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・3か月前と比べれば、12月は酒が非常に動く時期でもあるため、数字上、売上の的には非常に良い。価格が上昇していることもあるが、売上も景気も良くなっている。ただし、12月なので、こうした動きをすることはあらかじめ予測できている。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前は12月上旬の週末は、会社関係の忘年会で混雑していたが、コロナ禍以降、忘年会が全くなかった。しかし、宿泊単価の上昇に加え、今年は年末年始休暇が長かったことから、12月の売上の半分を年末の6日間で達成する状況である。お陰で今年の12月はトータルでみるとやや良い。
	○	観光名所（職員）	販売量の動き	・近隣スキー場が早めにオープンしたことで、宿泊施設は多少にぎわっている。
	○	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・政府に期待する声を聞くようになっている。
	○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・前半は余り良くなかったが、後半は冬休みとなり、家族層や若年層でにぎわっている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・月前半の不安定な景況から、年末に向かい人出が回復し、何とか前年並みに推移しそうである。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きは良くない。客は年末商戦の広告に乗らず、相変わらず、必要な物の購入のみである。今までなら、年末で買換えていたような物が、修理対応となっている。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・売上は3か月前から前年とほぼ同じペースで推移している。特選ブティック、時計、美術品等の高額商材が大きく前年を上回っているのに対して、衣料、食品、生活雑貨は依然として厳しい状況にある。期待した冬物衣料も秋口に動きがあったものの予想外の暖冬で、実売期に動きが鈍化している。12月の歳暮需要も11月に前倒しとなっている。
	□	スーパー（経営者）	それ以外	・前年比では売上は13%増加、来客数は8%減少となっている。売上は4月から外販の取引先が増えたために上がっているが、来客数は固定客の高齢化などで減っている。12月31日もたくさんのオードブルの注文があり、1月1日にも注文が入っていて、有り難いことである。
	□	スーパー（店長）	お客様の様子	・買物頻度の低下やセール日に集中したまとめ買いの傾向は変わらない。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・いろいろな商材の価格が上がっており、なかなか販売には結び付いていない。全体的にみれば横ばいか、買上点数がやや落ちているため、厳しい状態である。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が継続的に減少している。

□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・サービス部門、販売部門共に目標を下回っている。シーズンタイヤ交換やスタッドレスタイヤの販売で、穴埋めをしている。ガソリン価格は若干下がったものの、あらゆる生活必需品が値上がりしていることもあり、客の財布のひもはかなり固い。
□	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・11月が好調だった分の反動もあり、来客数が落ち込んでいる。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・観光客はほぼゼロである。服装等から、恐らく近場の地元客が来店している。
□	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・悪くなり続けているわけではないものの、良くなる気配もない。何かと利用が増加する月ではあるが、高額な商材の動きは余り増加せず、安価な価格帯での動きが増加している。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・年末年始の動きが悪く、来客数は減少している。物価高による旅行費用の値上がりで、客の動きが鈍く、秋から冬にかけて受注が低迷している。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・県庁所在地でも主要駅周辺の繁華街と郊外とでは、売上が前年を上回る地区と下回る地区が極端に、2極化している。ただし、売上が前年を上回っても、経費がそれ以上に掛かっているため、利益は前年を下回る事業所もある。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・年末年始の動きは例年よりも鈍化している。新規サービス拡張エリアでの獲得で、加入者数を補っている。
□	通信会社（社員）	来客数の動き	・季節指数以上の変化がない。
□	遊園地（職員）	来客数の動き	・12月に入って、急激な気温の低下と週末の悪天候の影響もあり、客足が鈍ったものの、貸切りイベントの実施が好評を博し、集客につながっている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・歳末というのにアーケード街には、日中でも来店客の姿が全くない。店側も歳末売出しの雰囲気が全くない。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・暖かい天候の影響もあると考えるが、徐々に来客数が減少している。クリスマスの販売動向も前年並みである。
▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・物価は継続的に上昇するものの、給料は年に1度しか上がらず、税や社会保険料の負担増加で、手取りもさして増えていない。直近の賃上げから時間がたつにつれ、実質手取りの上昇は、物価上昇分に差を広げられている。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・キャンペーンやセールを実施しても、それ以外の物を買わない客が多い。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・夏以降、17時以降の来客数が落ち込んでいる。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・セールやイベントは結構あるが、実施しても想定より売上が増えない。客の様子も盛り上がらない状態が続いているため、やや厳しい。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車イベントによる販売増加を期待したが、車両価格が上がっているため、買い控えが目立っている。
▲	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・政府の物価対策も始まったばかりである。ガソリン価格は目に見えて下がってきているが、ボーナスが出て物価高騰が止まらず、なかなか消費喚起までは追い付いていない。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・飲酒運転の取締りを自転車にまで拡大してから、客が激減している。忘年会は前年より多少増えているものの、この先が本当に心配である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・20日から、個人客のカップル向けにクリスマスディナーを開催した。1人2万円という高級商材になるが、前年と比べ、来客数が2割弱ほど落ち込んでいる。また、おせちの販売も行ったが、前年は高額な3段重から先に売れたが、今年は売れ残り、1段重が先に売れている。一方、年末年始にファミリー向けに安価で提供しているバイキング料理は前年より1.5割弱、来客数が増加している。

	▲	ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・プレー予約の伸びの悪さや購入物の単価低下などから、やや悪くなっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街を歩く人がほとんどいない。
	×	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	来客数の動き	・インバウンドが前年より減っている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	—	—	—
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・ガソリン価格が低下したことが影響したのか、来場者数は増加したものの、売上は前年並みで推移している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・年末商材対応に加え、店頭販売品の受注もそれなりにある状態である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工事の受注量、単価共に、少しずつ増えてきている。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業には改善の兆しがみえるものの、企業ごとのばらつきもあり、力強さに欠ける。非製造業では観光関連業は底堅いが、消費に対して節約志向が見受けられる。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・中国政府の渡航自粛要請に伴い、当地域の中国人観光客が減少していると取引先から情報が来ている。ただし、他国からの訪日状況に変化はなく、観光業のインバウンド効果は余り変わらない。一方で、物価高騰等のマイナス要因も継続しているため、総合的には変わらない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・商材価格を上げているため、他社との価格差が広がって、数量は落ちてきている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在庫を抱えないようにしているのか、材料調達の関係か、取引先が発注量を減らし、短納期で発注してくることが増えている。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の購買意欲が低下してきており、ここ1～2か月の働事では動員、売上共に減少している。ただし、小売店を始め、在庫は不足気味で、新商品の仕入意欲はある。売上は前年実績を若干上回ってはいるものの、素材高騰を受けた価格上昇に対する厳しい値段交渉も多く、収益は減少している。
	×	*	*	*
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・ここ数か月、何も変化がない。相変わらず、貧富の差が広がる傾向にある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の動きは横ばいで推移しており、大きな変化はみられない。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・外国人観光客などの動向が直ちに影響する状況ではないものの、長期化を懸念する声が聞かれる。諸政策の動きから、景況感の改善を期待する声と長引く物価高騰や円安の影響が心配という声がそれぞれ聞かれている。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・現場作業者への求人は旺盛なものの、採用基準が厳しくなっている。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内11月の有効求人倍率は1.33倍となり、前年同月比で0.11ポイントの低下となっている。月間有効求人倍率が前年同月を下回るのは19か月連続である。
	×	—	—	—